

第18回 若手砂防・土木技術者のための奥飛驒研修会

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、より解像度の高い地形計測、より計算精度の高い河床変動計算、家屋や道路を考慮した詳細な土砂氾濫計算、流域スケールの土砂動態モデルなどが開発され、検討の範囲が広がり、より高度な砂防事業が展開できるようになってきました。しかし、これらの技術の適切な活用は、現地の状況や問題を見る目を養うことが必要と考えます。このような背景から、砂防学会では、山地流域における土砂動態やそのモニタリング、また多種多様な砂防施設の機能と課題などに関する現地研修会を以下のとおり企画しました。

主催：(公社) 砂防学会

共催：京都大学 防災研究所 火山防災研究センター 穂高砂防観測所

後援：国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所、松本砂防事務所

(一財) 砂防・地すべり技術センター

NPO 法人 山の自然文化研究センター

開催日時：2024年9月4日(水)～9月5日(木)

場所：中尾公民館(京都大学防災研究所 穂高砂防観測所近く)

高原川流域(岐阜県高山市奥飛驒温泉郷)

梓川流域(長野県松本市安曇上高地)

定員：60名程度

内容

9月4日(水) 共通プログラム

14:00 集合(中尾公民館, 岐阜県高山市奥飛驒温泉郷中尾351)

14:00～15:00 砂防技術・研究の伝承に関する講演

- ・火山地域の土砂災害の予測技術(仮)(鹿児島大学名誉教授 地頭菌隆)

15:00～16:30 砂防事業に関する講演

- ・「高原川の土砂動態と砂防事業の課題」(神通川水系砂防事務所)
- ・「上高地の土砂動態と砂防事業の課題」(松本砂防事務所)

16:30～17:30 学生と若手技術者の交流会

9月5日(木) 現地研修会

Aコース(定員40名)

宿泊所ー奥飛驒さぼろ塾駐車場ーレンタカーに同乗し神通砂防管内の巡検ー各自昼食(道の駅『奥飛驒温泉郷 上宝』等)ー穂高砂防観測所ー徒歩にて観測流域(足洗谷)巡検ー穂高砂防観測所(15:00頃解散予定)

Bコース(定員20名)

宿泊所ー(レンタカーに同乗あるいはバス)ーあかんだな駐車場または平湯温泉集合ーバスにて上高地バスターミナルに移動ー上高地巡検(徒歩), 途中周辺で昼食ー上高地バスターミナル(15:00頃解散予定)

*本研修会は建設系 CPD の対象となる予定です。

宿泊先について

- ・昨年度までは宿泊先を主催者側で手配しておりましたが、本年度は各自で宿の予約・清算をお願いいたします。
- ・中尾温泉 (<https://nakao-onsen.com/nakaokougen/#oyado>) が最寄りの宿泊地になります。中尾公民館から徒歩での移動が可能です。レンタカー等で移動すれば平湯温泉、福地温泉、新平湯温泉、栃尾温泉での宿泊も可能です。
- ・中尾温泉は宿泊可能な部屋数に限りがありますので、可能であれば相部屋（複数人一部屋）でご予約をお願いいたします。

移動手段について

- *中尾公民館の最寄りバス停は中尾高原口（徒歩 30 分）あるいは中尾焼岳登山口（徒歩 2 分）になります。濃飛バス平湯・新穂高線が停車します。中尾焼岳登山口 12:08 着あるいは中尾高原口 13:07 着の便があります。https://www.nouhibus.co.jp/wp_rnw/wp-content/uploads/2024/04/202404hirayu_shinhotaka.pdf
- *レンタカーで参加される方々には、現地見学時に同乗をお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

費用について

- 参加費：無料，ただし障害保険料（実費，数百円程度を予定）のお支払いをお願いいたします。
- また，現地見学中のバス代も各自ご準備願います。

参加の申し込みについて

- 下記の URL からお申込みください。
- <https://forms.gle/yEyTxbGVPn7ooH8t5>



準備の都合上，申し込み期限を 8 月 16 日（金）とさせていただきます。応募多数の場合は，これまでの研修会への参加経験の有無や所属先などを勘案して主催者側で参加者を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

連絡先

京都大学防災研究所（穂高砂防観測所兼務）
山野井 一輝
E-mail: yamanoi.kazuki.6s@kyoto-u.ac.jp TEL: 075-611-4397